

## ウクライナのアゾフ連隊と生物兵器研究所 4月7日

日本のメディアの報道では、『侵略者の犯罪人、ロシアのプーチン大統領 対 正義の防衛戦をしているウクライナのゼレンスキー大統領』という設定のものばかりです。ウクライナ軍の中核である、凶悪集団『アゾフ連隊』に関しては、いっさい報道されません。『アゾフ連隊』の名前すらメディア報道では出てきませんし、巧妙で卑劣で凶悪な犯罪行為の数々はインターネットで検索して調べるしかありません。

しかし、ツイッター、フェイスブック、YouTubなどは、『コロナワクチンの危険性』に関する投稿と同様に『アゾフ連隊を非難する投稿』のほとんどを削除してゆきます。今回は、インターネットの様々なツールから、『アゾフ連隊』に関する情報を集めました。

後半には、オバマ大統領の時代に、アメリカが隠密裏にウクライナに建設した生物兵器研究所の実態について、ロシアが公表した最新情報などを特集します。ハンターバイデン(バイデン大統領の息子)の関与の件も含まれています。

ウクライナに現地視察チームを送り込んだ丸谷氏が、ゼレンスキー政府の軍隊は**ネオナチ**や犯罪者で構成される腐敗に満ちた恐ろしい雇兵『**アゾフ連隊**』が実権を握っており、アゾフ連隊の幹部は政府の要職にも就いていることを3月4日に「松田政策研究所チャンネル」でゲスト解説しています。ゼレンスキー政権とアゾフ連隊のおぞましい実態は、マスメディアでは報道されません。

### 丸谷元人 危機管理コンサルタント・国際派ジャーナリスト

豊富な軍事知識・経験を持ち、**自衛隊の将官クラスにも講演を行う・テロ対策・危機管理のスペシャリスト**。世界で5番目に治安の悪い国：パプア・ニューギニアで、24時間銃器を携帯し、要人警護や企業の立ち上げを行う。その後、グローバル企業の危機管理対策ユニットに所属。ナイジェリアの総工費500億円の巨大建設プロジェクトにおいて、誘拐・人身売買を一大ビジネスにしている地元マフィアやテロ組織への諜報活動・交渉を担当。過酷な現場での任務を通して、高い危機管理能力・情報分析のスキルを習得。各国の特殊部隊・諜報機関のメンバーとの人脈を構築する。帰国後、テロ対策・危機管理のプロとして、日本企業・日本人の「インテリジェンス」を高めるための講演・執筆活動・テレビ出演に力を注ぐ。今でも半年に一度はアメリカ陸軍・海兵隊の軍事演習に参加し、腕と知識を磨き続けており、自衛隊の将官クラスから講演を依頼されるなど、豊富な軍事知識・経験には定評がある



『本当は何が起きているのか！？ ウクライナ危機現地”生”情報から分析する！』

ゲスト：危機管理コンサルタント 丸谷元人氏

95,477 回視聴 2022/03/04

[松田政策研究所チャンネル](#) チャンネル登録者数 22.6万人

<https://www.youtube.com/watch?v=31xYWAEZLaM>

### 松田 学

前略 プーチンが領土的野心で一方的に侵攻して悪玉になっているが、それだけなのか？それだけでは物事の本質が読めないのではないかと、いう立場から、今回は丸谷さんの関係者がウクライナに行かれて、現地で色々なことをご覧になっているということなので、現地の状況などをお話いただければと思います。

丸谷元人

戦争が始まる前の段階で、調査チームを現地に入れまして、あの国の半分以上を色々と調査し、実際はどうなっているのか、とか、民間人の色々な声を聴いたりとかしてきたのですが、途中で戦争が起きてしまって、商業効果があつという間になくなってしまって、ガソリンスタンドも閉まっているとか、大変なことになって、なんとか隣国に陸路脱出に成功した、と、ほんの数日前のことなのですが、結構大変でした。その中でも、日本では得れない情報が大量に手に入ったというのがあって、見方が全然変わってくるというのがありました。

中略

地政学的見地から考えますと、今回プーチンは領土的野心はないと言っていました、それは間違いないと思います。なぜかと言うと、ウクライナを占領することは百害あって一利なし、と。そもそもウクライナは財政破綻国家ですし、あの政権はもの凄い腐敗やっていますし、そこをロシアが占領して自国のロシア軍を展開すると、ポーランドや周辺のNATO(北大西洋条約機構)諸国と国境を接しなければならぬ。もう、コストはかかるし、兵力はいるし、大変だと。そこで東部のドネツク、ルガンスクの2ヶ国(ウクライナ東部の親ロシア自治区)を併合しないで、2ヶ国の独立を認めるということにしたのも、直接ロシア軍が出るのではなく、彼らに武器を与えて戦わせるのが一番いいと。中略

プーチンが「麻薬中毒のネオナチ政権をやっつける」というようなことを言いましたが、あれはほんとうに凄くてですね、今のウクライナ政権は、ウクライナ内部にあるネオナチの動きはもの凄いことになっているということです。

松田 学

ほうそうですか。今、なんかゼレンスキーが英雄みたいになっちゃってですね、世界中が応援し始めちゃったんですけど。

丸谷元人

そうなんです。ゼレンスキーは国民を守るために立ち上がったということになってますけど、あの方もネオナチの凄い人たちと仲良かったりしますし、去年の2月には、自分に反対する野党の人たちの影響が強かったテレビ局とかを3つ、いきなり閉鎖してますし、言論の自由もへったくれもないんです。ですから、全体主義と民主主義の戦い と言う人もいますけれども、全然、民主主義でもなんでもなくて、現地で色々な人の話を聞きましたけれども、みんなロシアの侵攻に対しては怒っているんですが、かといって、今の政権の言っていることを信じているかという、マユツバ(眉唾)という感じで、ロシア兵が捕虜になったという映像がありましたが、「あんなの嘘だ」と言う人もいて、そのくらい政権を信じていないんだ、ということを感じました。

なので、そういうことを知らないで、ウクライナの政府の中枢にどれだけネオナチがいて、ギャング集団みたいななんがいっぱいいるわけですよ。

そういうことを知らないで、今回70人の日本人が行く行かない(義勇兵として)みたいな話になってますが、向こうに行ったら筋金入りのネオナチみたいなですね、アジア人嫌い、ロシア人嫌い、黒人嫌いですね白人が劣等人種をやっつけるんだ、ということをやっている人たちばかりなんですね、そういうことをちゃんと知った方がいいと思います。

松田 学

ははー、それはほとんどの日本人は知らない。そういう実態があるんですね。プーチンが「殺されているロシア系住民」ということを言っても、なにかプーチン頭狂ったんじゃないかとか、ロシアの情報画策とか、なんかそんな話になってますけど。

丸谷元人

それは、起こってますし、実は2014年にオデッサという町でロシア系住民の虐殺事件があつてですね、ネオナチのグループがロシア系住民を1つのビルに閉じ込めて、男性のことは拷問する、女性のことは強姦しまくって、その後で、ビルごと焼いちゃったと。50人ぐらい焼き殺したと。それでも、警察は来ない、目の前にある消防署も反応しない、という事件があつたんですね。

それをやったネオナチグループのトップとゼレンスキーさんはすごく仲いいですし、去年はその大量殺人をした人を保釈して、その人をオデッサの治安当局のトップにしようとしてましたし、遺族たちの毎年の追悼式典も、暴力的にネオナチはずっと妨害してきたというのがあるんですね。そんなの見たら、とてもじゃないけど、ちょっと違うな というのがありますね。

松田 学

じゃー、プーチンとしては、自国の安全保障もありますけれども、ロシア系住民も何とかしなければいけない、という動機もやっぱり。

丸谷元人

はい、ありますね。

例えば、大東亜戦争が終わった時に、日本人居留民が百万人ぐらい残ってたとして、朝鮮半島でギャングみたいな者のムーブメントが起きて、日本人が殺されたりして、大国の諜報機関から武器を貰ってやってたとなったら、戦後の日本は別ですけども、普通の国だったら、やっぱり兵出しちゃうと思うんです。日本も戦前は、上海で日本人が襲われた時は兵を出したわけです。

居留民保護ということで。

中略

松田 学

最初はロシア系住民に武器を供与して戦ってもらおうという道をやっていたけれども、どうもそれだけではすまなくなってきた という事なんですかね。

丸谷元人

はい 今回、私がチームを入れて ちょっとして、危なくなってきたな と思ったのは、ロシア軍が演習を終えて帰ると言い出した時に、東部の方で砲撃戦が激しくなったんですね。

停戦違反が、2月で2千件近くなったんです。

で、その時に、これをやっているのは、ウクライナ軍の中にいる極右のギャングみたいな連隊の連中かな、と思いましたね。

こうなると多分黙ってられないし、実は民間人の犠牲者も東部の方でかなり出てますので、ロシア系住民もやられてますし、当然、ロシア系も親ロシア派も武装してますし、やり返しますと。

今回、アメリカはロシアを戦争させたくて煽ってたな、と思ってるんですけども、アメリカが煽っていた時よりも、今回の停戦違反による影響の方が、私は、はるかに危ないなと思ってたんですね。

そしたら、ドンと戦争になってしまったという感じでした。

松田 学

なるほど。そもそも、ネオナチみたいなのがウクライナで はびこっているのはどうしてなんですか。

丸谷元人

彼らがどういう連中なのかと言いますと、『アゾフ連隊』という名前なんですけど、ヘルメットにナチスの鍵十字を入れたりとか、色々なものを付けてるんですね。

初代の連隊長というのは、2014年から2019年まで国会議員を務めた男で、彼はウクライナは社会の白人種を率いて、劣等人種に対して十字軍の作戦を行うべきだ、と言っている人で、元々親ナチスの土壌があったんです。

1941年にナチスがソ連を攻撃した時に、オデッサの町で、ウクライナ人の攻撃的な民族主義者が数日の内に、こん棒や銃で4千人のユダヤ人を殺しているんですね。

そんな男を、今のネオナチは崇めて神のように扱っているんですね。

そういうのがアゾフ連隊とか色々な物を創って、ギャング集団を入れて、**内務省の高官も、裸になったらナチスの鍵十字をいっぱい入れてるやつばかりなんですね。**

やっぱりそういうのを知ってたら、私は義勇兵という気持ちにはならないですし、ゼレンスキー大統領はそういうのと仲いいですから、ずぶずぶなので、これ凄い心理戦争というか、世論戦、情報戦というのが凄い。まー、プーチンは天使でもないですけども、悪魔化をし過ぎて、**プロパガンダ(情報戦)の王道をいっているような世論戦が展開されて、あまりに不気味だな、というのがありますね。**

松田 学

なるほど、そういうネオナチの実態というのは、今回、ドイツまで態度を硬化させてウクライナを助けるとなってますけれども、例えばヨーロッパの近隣諸国の方々はそういうのを知らないんですか。

丸谷元人

いや、知ってます。ウクライナは、アメリカのネイションという雑誌が2019年に書いているのが、**ウクライナは、正規軍にネオナチのグループがいる世界唯一の国だ**、とってる訳ですね。

アルジャジーラ(アラビア語と英語でニュース等を24時間放送している衛星テレビ局)なんかも、このアゾフ連隊のことをさんざん書いてますし、イギリスとかカナダの政府なんて、このアゾフ連隊と関わってはいけない、と、いうふうに決議を出したりしてるんですけども、それ、必ずひっくり返って、軍とか、諜報機関が、彼らを訓練したりしてるんですよ、実際に。

そういった意味で、アメリカの中にもネオナチのグループがいますけれども、例えば、アトムアッヘン師団というのがいるんです。超過激派思想の。

彼らなんて、ほんとに殺人やってる犯罪者とか、少女を暴行したりとか、そんなやつらばかりなんですけれども、彼らがメンバー(アゾフ連隊の)で、一緒に戦ってるんですよ。

そういうのが、ウクライナ内務省の警察特殊部隊として、しばらく機能していて、今、ナショナルガードユニットという所に入って、ウクライナ正規軍に今は編入されているという実態なので、そんなのみんな知ってますね。

大手メディアは、そんなこと敢えて言わなくて、ホワイトプロパガンダと言いますか、ゼレンスキーは素晴らしくて、国民の為に戦っていて、プーチンは悪だ、という二元論でやっちゃってますけど、向こうの色々なメディアをちゃんと読んでおけば、こういう記事は過去にいっぱい出てます。

松田 学

ほうそうですか。それで、ネオナチみたいなものは、ウクライナの一般市民はどういう

丸谷元人

いややっぱり、ウクライナの普通の人は、ほとんど普通という感じですけども、一方でこういう犯罪集団みたいなものが、ネオナチみたいなものが権力を握っているので、やっぱりその辺すごく離れているなど今回感じました。

政府というのは、建国以来ずっと腐敗を極めていっている政府でありますから、欧米からお金を貰ったり、ロシアからお金を貰ったりしてますけど、2014年に、親口派の、一応選挙で選ばれた大統領がひっくり返りました。ひっくり返ったのも、結局は、**米英の情報機関がお金を入れてバックアップした**、何十億ドル入れて育て上げた、ネオナチとかギャング集団が暴れて、政権転覆した、ということなので、そこらへんも言われないと。

あと、国連人権高等弁務官事務所の2016年の報告書で、アゾフ連隊が民間の財産を略奪して、ドンパツ地方で住民を拘束して、女性を強姦しまくって、男性なんか拷問しまくっている、という非難の決議の文章を出してるんです。

そういうの普通に出てくるんですけど、**日本では報じない**。

これが出たのは2016年ですが、2018年の段階でも、アゾフ連隊が首都キエフの秩序を回復するという名目で、パトロール部隊を勝手に造ってですね、ロマ人(ジプシーと呼ばれてきた集団のうちの主に北インドのロマニ系に由来し中東欧に居住する移動型民族)と言いますよね、ヨーロッパの、ロマ人のコミュニティに対して、凄まじい迫害行為をやったりとか、LGBTQ(同性愛)のコミュニティを襲ってボコボコにしたりとか、そんなことばかりやってるんですね。

松田 学

は一ん、何か中国がやってるウイグル人弾圧みたいなことですね。

丸谷元人

はい、やってることいっしょですよ。

松田 学

それを、西側諸国はバックアップしてるんですか。

丸谷元人

あー、実際にバックアップしてます。

その右派のトップとかいうのと、イギリス軍と一緒に会って、そういった者に対してイギリス軍が訓練するという事が、**去年(2021年)**に始まったりしてまして、それイギリス国防省は発表しなかったのですが、ウクライナ側が発表しまして、イギリス国防省が慌てて火消したという話もあります。

後略



#### [US真相究明舎RU/インコイトネサラ・ゲサラ](#)

ゼレンスキー政権と同盟を結んでいる民兵組織「アゾフ大隊」。彼らはネオナチであることが知られているが、ナチスのふりをしていられるわけでもなく、リベラル派が呼ぶ「ナチス」でもなく、彼らは本物のネオナチなのです！ 彼らは本物のファシストなのです！そして彼らはそれを非常に誇りに思っている。

それがアゾフ大隊！ PS: あなたが「ウクライナと共に立ち上がる！」と言うとき、あなたはゼレンスキー政権の凶悪犯と殺人犯と共に立ち上がることに同意となります。

2014年、オバマ大統領、バイデン副大統領の時代に、ウクライナで発生した政権転覆暴動は、アメリカのCIAやイギリスの諜報機関が仕組んだもので、ネオナチが暴動を先導しました。

⑥

『ドンバスの悲劇』2014年のドンバスは2022年のウクライナへの前哨戦  
[kojicosi](https://www.youtube.com/watch?v=kojicosi) Published March 27, 2022 830 Views

<https://rumble.com/vyr7na-20142022donbass-2014-prelude-to-ukraine-2022.html>



私は2014年、マイダンが始まった時にマイダンにいた。  
マイダン革命は、ウクライナの計画ではなく、それは、外国が、ロシアではなく、**ペンタゴン**（アメリカ国防省）が、**ワシントン**（英国）が、カナダやフィンランドが引き起こした内戦だ。 ナチスドイツをそっくり真似たものだ。これは内戦です。ウクライナとロシアの戦争ではなく、西側がロシア世界に仕掛けた戦争だ。

フィンランドのジャーナリスト ヤヌ・スコットネンのおかげで、西側世界はウクライナで実際何が起きているのかを、欧米のメディア報道だけでは分からないことを知ることができるのです。

《JAFA》さんの動画を転載させて頂きました。

「2014年、欧米の支援を受けた民族主義勢力がウクライナでクーデターを起こした後、オデッサでロシア系住民がネオナチに虐殺されました。

その後、ネオナチが主導するウクライナ軍がロシアからウクライナを守るという口実でドンバス地方に侵攻し、義勇兵との間で内戦が続きました。

**死者13,000人の70%は砲撃や狙撃で殺されたドンバスの民間人。**

**ウクライナ軍は最初から住民を標的にし、土中に埋められた遺体の中には頭を切り落とされたものや、カギ十字の烙印を押されたものもあります。**

ウクライナのネオナチは第二次世界大戦中にもナチスドイツと一緒に、ポーランド人やユダヤ人を虐殺しましたが、同じことを国内のロシア系住民に対して行ってきたのです。

**西側世界と西側メディアは8年間、このジェノサイドを意図的に無視し続けてきました。**

ドンバスの住民の声に耳を傾け、事実を直視した上でなければ、現在のロシアとウクライナの戦争の深層を理解することはできません。



「マリウポリ」から脱出できた人たちの証言

March 25th, 2022. [kojicosi](https://www.bitchute.com/video/xdLkh32z22Gz/) 570 subscribers

<https://www.bitchute.com/video/xdLkh32z22Gz/>

\*【証言内容】\* 「**ロシア軍のおかげで脱出できた**」「ウクライナ軍が撃ってきた、人道回廊を使って脱出しないように言われた。」「ウクライナ軍は我々を人間の盾として使い続けようとしたんだ。」

「ウクライナ軍は人道回廊を使った避難に何も協力してくれなかった。」「アゾフは逃げようとした人々を処刑しやがった、バスごと皆殺しにしたんだ」「ウクライナ軍が住宅地の中に陣取った。」  
 「ドネツクの兵士が家の中から我々を引き摺り出して逃げるように言ってくれた。」「私たちはウ軍の人間の盾にされたがロシア軍のおかげで避難できた。」「窓からウ軍の装備が見えるんです、自走式ロケット砲とかね。」  
 「私たちはまるで大砲の餌食でした、彼らは住宅地の庭から反撃していた。」  
 「自信を持って言えますが、被害の85%はアゾフ大隊によるものです。」



『キエフ郊外の**ブチャ**で、ロシア軍が撤退した後に、路上に惨殺された20人の民間人の遺体が散乱していた』という4月3日のニュースは、全世界に大きな衝撃を与えました。

ウクライナの路上に残される数々の遺体、ロシア後退後の首都郊外ブチャで  
 2022年4月3日 BBC NEWS Japan

<https://www.bbc.com/japanese/60971033>



ロシア軍が軍事侵攻を続けるウクライナの首都キーウ(ロシア語でキエフ)から北西近郊にあるブチャで1日、ロシア軍が後退した後の路上に、複数の遺体が残されていることが明らかになった。市内にはロシア軍に殺害された約280人を埋葬した集団埋葬地もあるという。

ロシア軍後退後のブチャに入ったAFP通信記者は、路上で少なくとも20人の遺体を発見したという。そのうち少なくとも1人の男性は、両手を後ろに縛られていた。

キーウから約24キロ北西のブチャに入ったロイター通信のカメラマンも、路上に点在する複数の遺体や大破した車両、砲撃で大きな穴の開いた集合住宅などの様子を撮影している。

ウクライナ当局はAFP通信に対して、死亡した男性たちはロシア軍の砲撃かロシア兵の射撃で死亡した可能性があるとして、警察が捜査すると話した。

一方、ブチャのアナトリー・フェドルク町長はAFP通信の電話取材に対して、発見された20人の遺体はすべて後頭部を銃で撃たれていたと話した。さらに、砲撃で破壊された複数の車両の中にも、複数の遺体が残されているという。

ロシアの軍事侵攻の結果、ブチャの町は280人を集団埋葬したと、町長は話した。

ブチャに入るウクライナ軍の最初の部隊は、ウクライナ国家親衛隊の特殊部隊(アゾフ連隊)

April 5th, 2022 51 回視聴 匿名

⑧

ウクライナの兵士は地元の人々と連絡を取ります。

そして、「ひどいロシアの占領者」についての住民からの苦情は1つ也没有せん。

居住者は、ブチャのどのオブジェクトがロシア軍によって宿泊施設の基地として使用されたかを簡単に伝えます。

これは、ウクライナ軍の支配下へのブチャの移行の時点で、「戦争犯罪」(ロシア軍の)がなかったという事実を明確に証明しています。

通りには死体も、集団墓地も、拘束されて撃たれた民間人もいませんでした。

(死体は1体だけありました。 動画は下記のものと同じです。)

ウクライナ国家警察隊がロシアの虐殺を報じる前日にブチャ市内のお片付け動画をアップしていた

April 4th, 2022 192 回視聴 [字幕倉庫@Jano](#) 56フォロワー

<https://odysee.com/@Jano:7/Project-2:011>



上記の投稿は、ブチャの惨劇報道の数日前に、ウクライナ軍がブチャに入り、後片付けをしていた時のものです。破壊された戦車や道路に散らばる多くの死体はありません。

放置されたトラックや乗用車の撤去作業の映像があり、道路はきれいなものでした。

死体は1体のみ確認されていました。

この映像撮影の後に、プロパガンダ報道用の作業が行われたのでしょうか。

下記の5日に毎日新聞で報道された、破壊された多くの戦車や軍用車両の映像は他の地域のものだと思います。ウクライナ軍の片付け動画での道路幅も下記の道路幅に比べてかなり広いようです。



以下は、3月16日に『マリウポリの劇場』がロシア軍の空爆で破壊され、多くの避難民が犠牲になった、というフェイク報道の検証です。



【ウクライナ侵攻】「数百人避難」の劇場、爆撃で完全に破壊。  
建物周辺にロシア語で「子ども達」と書かれていた  
3/17(木) 16:24配信 ヤフージャパン・ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3e14d5baf7456367574c59d4c72be84c0121e050>



破壊される前のドネツク学術地域演劇劇場

ロシア軍による包囲が続いているウクライナ南東部の都市マリウポリの中心部で3月16日、演劇劇場が空爆で破壊された。ウクライナ外務省によるとロシア軍の砲撃で家を失った数百人が劇場に避難していたところ、ロシア軍が強力な爆弾を投下したという。【安藤健二・ハフポスト日本版】  
アメリカの宇宙開発企業「マクサー・テクノロジーズ」が14日に撮影した衛星画像では、建物の前後にある広場にはロシア語で「子供たち」(дети)と大きく描かれていた。民間人の子ども達が中にいることをロシア軍に訴えていたものとみられる。

**ウクライナ外相「ロシアがここが市民の避難所だと知らなかったはずはありません」**

ウクライナのクレバ外相は16日、以下のようにロシアを非難するツイートをした。  
「マリウポリで、また恐ろしい戦争犯罪がありました。数百人もの無実の民間人が避難していた演劇劇場に大規模なロシアの攻撃です。建物は完全に破壊。ロシアがここが市民の避難所だと知らなかったはずはありません。マリウポリを救え！ロシアの戦争犯罪者を止めろ！」

**ロシア駐米大使館は「ウクライナの過激派の犯行」と主張**

ロシア国営タス通信は、ロシアの駐米大使館の主張を伝えた。  
それによると、ロシア軍が劇場を空爆したというアメリカのメディアの報道は「[フェイクニュース](#)」であり、「民間人を人質に取ったウクライナの過激派が劇場を爆破した」と説明している。

マリウポリ市の公式観光サイトによると、この劇場の正式名称は「ドネツク学術地域演劇劇場」。1959年に建設されたもので、トルストイ、プーシキン、チャーホフ、シェイクスピアなど国内外の作品を初め、現代の作家や作曲家によるさまざまな作品が上演されていたという。



3月16日に数百人が避難していた劇場がロシアの空爆により爆破されたという、ウクライナの報道。しかし、**救助活動の映像やけが人や死体の搬出活動の映像が一つもありません。**  
3月23日のゼレンスキー大統領の日本の国会でのオンライン演説でも、この事にはいっさい触れていません。避難していた人々は、爆破前に解放されていたのでしょうか。そう信じたいものです。

有限会社 大幸ツアー

## あの劇場爆破の真相も当事者証言により明らかに

2022年3月30日

及川幸久氏の解説動画によりますと、

ウクライナの大人気youtuber(英語名Yuri Podolyaka)さんが「誰が劇場を爆破したのか？」を語っているそうです。どんどんウクライナのウソが明らかになってきています。

その衝撃の内容とは、

ロシア軍による包囲攻撃が続くウクライナ南東部マリウポリで、16日ミサイル攻撃を受けた劇場の死者は推定300人に上る、市当局者が25日、明らかにした。

### 世界のメディアに出てこない現地の人々の証言

アゾフ大隊のウクライナ兵がマリウポリのドラマ劇場の建物を爆破し、多くの市民が地下に隠れていた。“車が混んでいるから”と連れて行ってもらえなかったんです。女性と子供たちは、ドラマ劇場の地下に避難し、そこで15日間過ごしました。

産婦人科病院の嘘が失敗した後、ウクライナ兵は劇場と結託して女性、子供、老人を劇場に集め、劇場を爆破し、世界にロシア空軍の仕業だと叫び、ウクライナの空を閉鎖しろと訴えています。

マリウポリの住民は、アゾフ大隊の振る舞いをこう表現している。

「店に並んだら、押し出されて、店の物を全部持っていかれる」

アゾフ大隊の本部がドラマ劇場の地下にあり、劇場ホールは平和な人々で完全に埋まっていて、彼らが逃げないようにアゾフの12人の過激派が警備している。

マリウポリの情報筋ではEADailyに、爆発は建物自体の内部で起きたと語った。空爆や砲撃ではなかった。3/17マリウポリ劇場への爆撃は4日前から準備されていた。

劇場空爆と ブチャ市内の死体の放置のフェイクニュースには、EU、国連、英国、ドイツ、フランス、米国、日本の首脳たちは、フェイクと知りながらも、非難の声明を出し、更なる制裁を検討すると発表しています。テレビや新聞の報道しか知らない、世界の多くの人々は、益々プーチン大統領とロシアへの非難を強めています。



衝撃のビデオが世界を震撼させた！  
これがウクライナ/ネオナチの正体だ。  
2022-04-01 Tanto Tempo

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/04/01/015640>

### INDEX

1. 衝撃のビデオが世界を震撼させた！これがウクライナ/ネオナチの正体だ。
  1. CNNの報道 「ウクライナ兵がロシア兵捕虜を銃撃」の動画、当局が調査表明
  2. Twitterやブログでも。
  3. New York Postの報道

ウクライナのゼレンスキー大統領とアゾフ大隊らのネオナチがやっていることの真実が報道された。

あまりの恐ろしいビデオに震え上がる。ウクライナ当局は全世界にこのことが暴露され、大いに慌てて「断じて許されない行為だ。直ちに調査する」などと取り繕っている。

日本の、また世界の主流メディアは新型コロナウイルスとワクチンだけでなく、ウクライナについても虚偽の報道をしてきた。世界の大衆はどこまで騙されなければいけないのか。

## CNNの報道「ウクライナ兵がロシア兵捕虜を銃撃」の動画、当局が調査表明

(CNN) ウクライナ北東部ハリコフ州でウクライナ軍の兵士らが捕虜のロシア軍兵士らをひざまずかせ、銃撃した場面とされる動画が、インターネットに投稿された。ウクライナ当局はただちに調査すると表明した。問題の動画は6分弱の長さ。ウクライナ兵らが、ロシア国境から約30キロの同州オルホフカ村で活動していたロシア軍の偵察班を捕らえたと話す声が入っている。

ウクライナ大統領府のアレストビッチ顧問は27日、ユーチューブ上のインタビューでこの動画について質問を受け、「政府は非常に深刻に受け止めている。ただちに調査する」とコメント。事実だとすれば「断じて容認できない行動」だと強調した。

### Twitterやブログでも。

先日の記事の中で、ウクライナのネオナチが捕虜のロシア兵を撃っているビデオが載ったTweetを紹介した。「**ウクライナの兵士はロシアの捕虜の足を撃ち、その後彼らに激しい殴打を加える。**ビデオの冒頭では、足に弾丸の傷を負って地面に横たわっているロシア人捕虜が。彼らの中には、足の骨が折れている人もいる」

「これは、ロシア軍が負傷した後に捕らえられたような印象を与えるかもしれない。しかし、そうではない。ビデオの最後で、**ウクライナの兵士が新しく到着したすべての囚人の足を撃っているの**を見ることができる」

櫻井春彦という人の「櫻井ジャーナル」にはこのように書かれている。

[マリウポリなどから脱出した市民が「アゾフ大隊\(アゾフ特殊作戦分遣隊\)」の実態を告発しているが](#)、そうした市民によると、アゾフ大隊によって建物は破壊され、人びとは拷問され、殺された人も少なくないようだ。若い女性はレイプされているという。

ウクライナはエアロゾル化した生物兵器を無人ドローンでロシアなどに飛ばす計画だった。

2022-04-05 [Tanto Tempo](#)

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/04/05/095050>



### INDEX

1. [ウクライナはエアロゾル化した生物兵器を無人ドローンでロシアなどに飛ばす計画だった。](#)
1. [半径300キロの範囲を網羅する。](#)
2. [アメリカは病原体をエアロゾル化する特許を所持。](#)
3. [重要人物：DTRAのロバート・ポーブ、DTRAのキエフ所長ウィントロール](#)
4. [ウクライナの保険大臣はなんとアメリカ人。そして、ハンター・バイデンとメタビオータ社とブラック&ヴィーチ社。](#)
5. [ウクライナ人ボランティアはコンゴ・クリミア熱ウイルス等に感染。](#)
6. [アメリカはウクライナの病原性生体を2月にアメリカに輸送し証拠隠滅を図った。](#)

ロシア軍は、アメリカが資金提供してきたバイオラボで開発された兵器化された病原体を運ぶために、無人機を使うことにウクライナが関心を持っていることを示す文書 を提示した。

バイオラボプロジェクトに関与した米国当局者の名前と、**現在の米国大統領の息子(ハンター・バイデン)**がこの計画で果たした役割も、木曜日の特別ブリーフィングで公表された。

### 半径300キロの範囲を網羅する。

重要な証拠の1つは、ウクライナの子会社Motor Sichからトルコの無人機メーカーBaykar Makina(Bayraktar TB2とAkinci UAVのメーカー)に宛てた2021年12月15日付の手紙でした。

ウクライナ人は特に、無人機が20リットルのエアロゾル化された弾頭を300キロメートルの範囲まで運ぶことができるかどうかを気にしていた。— これらのドローンを十数箇所に及ぶロシアとベラルーシの主要都市のほとんどすべてを範囲に入れるために。

「我々は、キエフ政権による、ロシア連邦に対する生物兵器の使用の可能性を伴う生物兵器の技術的運搬手段と使用の開発について話しているのです」と、ロシア核・生物・化学防護軍司令官 **イーゴリ・キリロフ中將** は述べた。

#### アメリカは病原体をエアロゾル化する特許を所持。

キリロフはまた、ドローンからエアロゾル化された病原体を展開するメカニズムに関する米国特許(第8,967,029号)にも言及した。この特許に関する2018年のロシアの調査に対する米国の回答は、その存在を否定はしなかったが、化学的および生物兵器を禁止する条約の下でのワシントンの義務を技術的に侵害していないと主張した、と彼は指摘した。

キリロフはアメリカ政府機関、国防脅威削減局(DTRA)、ペンタゴン、国務省と、ウクライナ保健省と、ウクライナ国内の特定の施設との間で署名された契約を示した。ロシア軍によると、ペンタゴンは、ウクライナのたった一つの施設、保健省の公衆衛生センターに生物学的研究に3000万ドル以上を費やした。

#### 重要人物: DTRAのロバート・ポープ、DTRAのキエフ所長ウイントロール

**DTRA**職員のロバート・ポープは、このプログラムの「重要人物の一人」であり、「キエフに特に危険な微生物の中央寄託所を創設するという考えの著者」であるとキリロフは述べた。ウクライナにおけるペンタゴンの生物学的プロジェクトは、キエフのDTRA事務所長ジョアンナ・ウイントロールが、2020年8月に辞任するまで調整した。キリロフによると、彼女は炭疽菌、コンゴ・クリミア熱、レプトスピラ症などの致命的な病原体を研究するためのプロジェクトUP-4、UP-6、UP-8を直接監督した。

ウクライナの保健大臣はなんとアメリカ人。そして、**ハンター・バイデン**とメタビオータ社とブラック&ヴィーチ社。アメリカ機関の接触点は、ウクライナの保健大臣(2016-2019)ウリヤナ・スプルンで、彼女自身はアメリカ国民だと、キリロフは指摘したが、主要な仲介者は、キエフ事務所がランス・リップペンコットが率いる民間請負業者ブラック・アンド・ヴィーチだった。別のペンタゴンの請負業者、メタビオータもこのプロジェクトで役割を果たしていた。キリロフは、**現アメリカ大統領ジョー・バイデンの息子であるハンター・バイデン**が「ウクライナ領土内の病原体と協力する経済的機会を作り出す上で重要な役割を果たした」と述べ、彼とメタビオータとブラック・アンド・ヴィーチの幹部との間のいくつかの電子メールを指摘した。特に、彼はメタビオータ副社長を、彼らの通信に基づいて「ハンター・バイデンの親友」と表現した。将軍によると、「欧米マスコミ」は、これらの電子メールの信憑性を確認した - おそらくこれは、イギリスの新聞**デイリー・メール**が先週発表した資料への言及だ。

#### ウクライナ人ボランティアはコンゴ・クリミア熱ウイルス等に感染。

キリロフが示したメモによると、キエフでさえバイオラボを心配していた。ウクライナ治安局(SBU)のヘルソン部門からの2017年の書簡は、DTRAとブラック&ヴィーチは「新しいタイプの生物兵器を作成または近代化するために使用できる、特に危険な感染症の病原体に関する研究を行っている、ウクライナの微生物学研究所の機能に対する管理を確立する」つもりであると述べている。

キリロフは、ウクライナ保健省の公衆衛生センターからの2019年6月の文書を指し示して、なぜ秘密を主張し「被験者の死を含む」「深刻な」事件は24時間以内に米国の生命倫理当局に報告されなければならないと要求したのか疑問に思ったといった。

「公式の研究プログラムが『氷山の一角』にすぎないことを排除するものではないが、実際には、ボランティアはコンゴ・クリミア熱ウイルス、ハンタウイルス、レプトスピラ症の原因物質に感染していた」と将軍は言い、米国を「ウクライナ市民に対する軽蔑的な態度」で生物学的および医学的実験のためのモルモットとして扱った、と批難した。

#### アメリカはウクライナの病原性生体を2月にアメリカに輸送し証拠隠滅を図った。

アメリカは長い間、ペンタゴンが資金提供しているウクライナの生物研究所に関する疑惑は「ロシアの偽情報」だと主張してきた。ところが、今月初め、アメリカ外交官ビクトリア・ヌーランドは、上院で「ウクライナの生物研究所」は存在し、ワシントンは「生物研究の材料がロシア軍の手に渡らないように」キエフと協力していると証言した。

キリロフによると、ウクライナに保管されているすべての病原性生体材料は、2022年2月上旬に「オデッサ経由で軍用輸送機で米国に輸送された」。2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻すると、キエフの保健省は残りの部隊を破壊するよう命じた、と将軍は述べた。

キリロフは、**ロシアの介入により、炭疽菌、野兔病、ブルセラ症、コレラ、レプトスピラ症、アフリカ豚コレラに**取り組んでいた5つのウクライナのバイオラボでの活動が停止したと述べた。



プーチンからトランプへ "ワシントンD.C.の沼の水を抜くのを手伝える"

By Michael Baxter -2022年3月31日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/03/dc.html)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/03/dc.html>

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は火曜日、1週間の沈黙を破り、ドナルド・J・トランプ大統領に、ウクライナの腐敗を一掃したら、喜んでワシントンDCの沼の水を抜くのを手伝う、と言ったと、マール・ア・ラゴ関係者は匿名を約束して語った。  
「私の助けが必要なら、そう言ってください。ロシアの沼をいかに早く、効率的に排水するかを教えてください。ワシントンの沼の水を抜くのを手伝えます」とプーチンは言った。

プーチンの冗談は、トランプに、ウクライナでの特別軍事作戦が勝利するまで暗躍し、沈黙すると言った1週間後のことだ。彼はさらに、電波の沈黙を破る気はないが、米国が支援するロシアの政権交代に対するジョセフ・R・バイデンの反発が、彼が米国の正当な大統領と考える人物に電話をするよう促したと述べた。それはドナルド・J・トランプだ。

普段は理解不能なバイデンが、はっきりとこう言ったのだ。

「この男(プーチン)は権力の座に留まることはできない」。

外国の政権交代を提唱することは宣戦布告に等しいが、西側諸国にとって幸いなことに、プーチンのユーモアのセンスは犯罪者バイデン政権への反感を覆い隠してしまったのである。

トランプ大統領に向かって、プーチンはバイデンを、右と左、上と下が分からないほど多方向に糸を引かれた方向音痴のマリオネットと呼んだ。

「ジョー・バイデンという男は、私を愉快にさせる。権力もないくせに、よくもまあ、あれだけの権力を持っているふりをし、人々に信じ込ませることができるものだ。

**問題は、人々が彼を信じ、彼が本物の大統領であると信じていることだ。**

ボリス・ジョンソン、エマニュエル・マクロン、スコット・モリソン、彼らはジョセフ・バイデンの話を知っている」とプーチンはトランプに言ったとされる。

「彼らは皆、**ディープ・ステート**だ」とトランプは答えたという。

「ディープ・ステート、死んだ国家だ。裏切り者にどう対処するか分かるか？ 私は数人の友人を連れて、臆病者が隠れるデラウェア州に行く。問題解決だ」とプーチンに言った。

「あなたが成し遂げたことは途方もないことだが、ここの雰囲気はもっと慎重さが必要だ。

計画について話すことはできないが、**何か途方もないことがすぐに起こるだろう**」とトランプは言った。

過去にそうであったように、プーチンは、西側のプロパガンダ的な嘘は、**ウクライナから生物兵器研究所と小児性愛者を取り除くための特別軍事作戦の成功**に何の影響も与えなかったと言った。

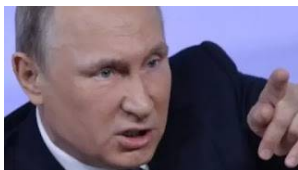
やる気をなくしたロシア兵が命令に従わず、自分たちの装備を破壊し、誤って自分たちの飛行機を撃墜したという話は、"CIAの空想"だ。さらに、キエフから軍隊を撤退させ、ウクライナ東部に配備するという最近の決定について、西側情報機関が公に誤った報道をしたと述べた。

「トランプ大統領、この汚物どもはもっと嘘をつく。我々はキエフで圧倒的な勝利を収めた。小児性愛者を殺したり、逃亡させたりして、今度はウクライナの他の地域にある、より孤立した巢に目を向ける」とプーチンは述べた。

また、プーチンは、彼の将軍たちが戦死したか、反乱を計画しているという西側の主張も否定した。

「我が軍は強く、集中し、毅然としている。東欧はもはや西側の悪の拠点にはならないだろう。トランプ大統領、私の言うことは真実だと分かっているはずだ。

我々はウクライナの2万5千人の子供たちを小児性愛者から解放した」。



プーチン、ウクライナで監禁されていた3万5千人の子供たちを解放  
By Michael Baxter -2022年4月5日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/04/35.html)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/04/35.html>

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は土曜日、ドナルド・J・トランプ大統領に、ウクライナでの「特別軍事作戦」によって、彼が「特に幼い子供を世界的に売買する東欧の拠点」と呼ぶ場所から3万5千人の子供を解放したと語ったと、世界で最も強力な2人のリーダーの会話から内通しているマー・ア・ラゴ関係者は語った。

プーチンの言葉が誠実であるならば、彼がウクライナに入った本来の理由は、米国、西ヨーロッパ、イスラエルが資金提供する生物兵器研究所を消滅させることであつたはずである。

しかし、ロシアの特殊部隊(スペツナ)がウクライナ中央部で小児性愛者の野営地に偶然出くわし、そのような施設がウクライナに何百と点在していることを知ると、プーチンは新たな大義名分を掲げたのである。プーチンは、「汚物やクズ」のような小児性愛者をすべて粉砕し、「神なき国」にはびこる地獄のような児童売買組織をすべて壊滅させるという、新たな大義を掲げた。

土曜日、プーチンはトランプに、彼の軍隊が150の人身売買組織を特定し、慎重に狙った結果、約3万5千人の子供たち(そのほとんどがロシア人)が性的奴隷から解放されたことを明らかにした。

「これらの解放は、ほとんどがロシアのスペツナによって行われた。プーチンはトランプに、子供たちが中にあるかどうか、あるいは子供の人身売買業者がまだ作戦を監督しているかどうかさえ知る術がないため、収容所を恣意的に爆撃するわけにはいかないと言ったのだ。多くの場所で、人身売買組織は戦争のために逃げ出し、子供たちは自活するために取り残されていた」と、情報筋は語った。

しかし、すべての人身売買の巣窟が、ウクライナの田舎の人里離れたアクセスしにくい場所に隠されているわけではない。

プーチンによると、特殊部隊は、キエフのダウンタウンにあるヴォロディミル・ゼレンスキーの主な仕事場である政府庁舎から2ブロックしか離れていないオフィスビルで、大規模な児童売買のシンジケートを発見したとのことだ。スペツナスはそのビルに潜入し、8人の密売人を殺害し、実に陰惨な光景を目の当たりにした。65人の子供たちが狭い檻に入れられていたのだ。

「トランプ大統領、これが私たちが戦う理由です。

犬のゼレンスキーがこのことを知らなかったというのは、ありえないことです。彼の目と鼻の先にあつたのです。

ウクライナ全土で、ロシアの子供、ウクライナの子供、ヨーロッパからの子供、そして、アメリカからの子供が見つかっています。

この背後にいる悪人どもは、叩き潰し、絶滅させなければなりません。ウクライナは広く、この汚物どもは何十年も恐怖に耐えてきたのです」と、プーチンはトランプに言った。さらに、プーチンは、スベツナスがマリウポリ港の倉庫から埃まみれの台帳を回収したと述べた。児童売買組織は、その建物を加工センターに改造し、そこから子供たちをウクライナ国内外に送り出していたのだ。プーチンによると、この台帳には、人身売買業者が国外に送り出した子供の名前、日付、性別、年齢がでっちあげで記されていた。台帳の最も古い日付は2005年3月2日である。

「こんなことがいつから行われていたのか、信じられない。君のやっていることは信じられない、本当に信じられない、でも世界はそれを信じていない」とトランプはプーチンに言ったと伝えられている。

プーチンは、自分の使命は高潔で名誉なものだから、世界がどう思おうと構わないと言い、困難で必要な目標を達成するために、必要なら東欧全土を踏破すると誓ったのである。

「この犯罪者たちは、1991年(父ブツシュ大統領の時代)以来、あまりにも長い間、ここで悪事を働いてきた。今、それを止める」とプーチンは言った。

今後の2~3カ月で、プーチン大統領は ウクライナの**アゾフ連隊と児童誘拐組織と生物兵器研究所**を壊滅させ、ウクライナの人々を恐怖政権から解放した**英雄**、として世界中で称賛されてゆくことでしょう。**30年間に25万人**のウクライナやロシアの子供たちが誘拐され、地下基地に幽閉され、西側諸国の子供を生贖にする悪魔儀式のためや、児童性愛者に売られていったという説もあります。

**プーチン大統領が破壊したウクライナの生物兵器研究所**  
**米国国務省/国防総省が資金提供した11の生物兵器施設、**  
**ドイツの4つの毒性化学研究センター、**  
**スイスの3つのナノテクノロジーセンター、**  
**フランスの1つのバイオテクノロジー・コンソーシアム、**  
**空気感染する狂犬病の兵器化に熱中していたイスラエルの3つの研究所、**

近日中にトランプ大統領とホワイト米軍が決起します。

2021年1月9日にトランプ大統領が『**反乱法**』を発動し、大統領の権限をホワイト米軍が移して以来、トランプ大統領が法律の定める大統領であり、核のコードを使用できるのは、ホワイト米軍のトップとトランプ大統領の2人だけです。

ホワイト米軍は、隠密裏に国家反逆罪などを犯した犯罪者を逮捕し、軍事法廷で裁いてきました。

**ヒラリークリントン** 殺人、国家反逆、児童売買の罪 2021年4月26日に絞首刑

**トムハンクス(俳優)** 児童売買 2021年6月25日 薬殺刑

**クリントン元大統領** 国家反逆、児童売買の罪 2021年7月24日に終身刑 9月25日に独房で死亡

**ビルゲイツ** 児童売買、小児性愛、陰謀、マネーロンダリング、ワクチンによる殺人、の罪  
2021年10月5日 絞首刑

**ハンターバイデン** 国家反逆罪と共謀罪、強姦罪、児童性犯罪 2021年10月15日 絞首刑  
(バイデン大統領の息子)

**ブッシュ元大統領** 9・11同時多発テロの共犯者、国家反逆罪、9・11で失われたすべての人命への責任  
2022年1月4日 絞首刑

トランプ大統領とホワイト米軍が決起の後、全ての真実が全世界に知れ渡ってゆくことでしょう。